

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

事業性質	事業小区分	種別
1 県・委託	1 ものづくり産業	1 ソフト
2 県・補助	2 食産業	2 ハード
3 県・負担金	3 観光産業	
4 県・上記以外	4 地場産業	
5 市町村事業	5 雇用環境の整備	
	6 農林水産業	
	7 地域医療・健康づくり	
	8 子育て・福祉	
	9 防災・危機管理	
	10 環境	
	11 市町村優先の行政システム	
	12 NPO・コミュニティ	
	13 県際・圏域間での連携	
	14 国体・障害者スポーツ大会	
	15 その他圏域の課題解決	

事業の評価・振り返りを記載

県北広域 振興局

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	地域で育てる農業担い手支援事業	久慈地方農業農村活性化推進協議会 二戸地方農林水産振興協議会	4,899,218	2,517,424	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者支援については、就農者の確保など一定の成果があったが、研修の受講者が固定化されるなど、新規の開拓が今後必要と思われる。 ・経営改善への支援については、今後市町村との連携を強化し、対応していく必要がある。 ・農業女子セミナーについては、具体的なフォローアップや、対象者の意欲を向上させるような工夫をしていく。
2	集落営農組織活動支援事業	農政部	205,884	205,884	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・直播栽培やプール育苗などの低コスト生産の取組は定着してきている。 ・籾米サイレージの耕種農家から畜産農家への提供は、県内では初めての取組で注目を集めている。今後、取組の拡大が期待できる。 ・また、平成30年度以降は、新たな所得確保の取組として、育苗ハウスを活用したトマト栽培に試験的に取り組むこととしている。
3	二戸型農作業労力確保チャレンジ事業	新岩手農業共同組合 北部営農経済センター、新岩手農業協同組合 奥中山営農経済センター	310,551	154,000	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・農作業アルバイトの説明会への参加者が少ないため、雇用数も少なくなっている。説明会への参加者を増やし、農家とのマッチングを増やすことが課題である。 ・今後は、関係機関と連携して、課題が少しでも改善するように支援していきたい。
4	園芸労働力確保支援対策事業	農政部	160,180	160,180	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・農福連携のモデル実証により、障がい者でも農作業ができることが確認できたことから、久慈地域における園芸労働力確保の一方策として有効であると考えられる。また、実績検討会等を通じて、農福連携に興味のある農業関係者や福祉関係者がいることが確認できた。 ・今後取組を拡大・定着させるためには、引き続き事業を実施し、事例収集等しながら周知していく必要がある。

5	県北畜産の産地づくり実践事業	農政部	1,383,294	898,894	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・分娩前後の増飼により分娩後母牛の体重減少、低栄養状態が防止された。また、分娩間隔の短縮には一定の効果が見られたが、農家による実証結果の差が大きいため実証頭数を増やして検証する必要がある。 ・搾乳立会指導および衛生指導により一定の効果は見られたが、乳房炎原因菌が検出されている農家については継続指導が必要。 ・農家指導により、採食量の増加による生産性増加が見込まれ、また省力化がなされた。モデル実証として、関係機関を介し改善効果が地域へ広がってきている。今後は、地元関係機関の協力を得てモデル実証内容の周知を更にすすめていく必要がある。
6	県北地域頑張る6次産業化応援事業	農政部	1,375,167	1,270,779	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化ケース・スタディを通じて、6次産業化志向者の掘り起こしができた。また、アンケート等を実施し、志向者支援に対する課題が抽出できたことから、次年度以降はその課題解決に向けた新たな取組により、実践者の獲得に結び付けたい。 ・産直運営組織の意識改革につながり、販売額も向上するなど当事業の目標は概ね達成されたと考えられる。一方で、産直に出荷する生産者の高齢化により出荷量が伸び悩む等の課題も抽出されていることから、今後は、その課題解決に取り組み、さらに販売額向上を図りたい。
7	久慈地域特産物認知度アップ事業	農政部	135,220	135,220	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生等若い世代への郷土料理の伝承活動により、郷土料理に興味を持ってもらう、継続的な開催要望を得ることができた等、当事業の目的は達成することができた。しかし、伝承は一部の活動に限られているため、今後は自主的な活動へ誘導しつつ、継続的な支援を行いたい。 ・地理的表示保護制度については、ゼロ予算でさらに検討を進めていく。
8	「林業・木材産業」新規就業促進対策事業	林務部	406,440	406,440	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を上回る成果を得ることができ、所期の目的は達成されたと考えられる。一方で、より分かりやすい業界説明の必要性も認識することができた。 ・今後は、業界説明用の新たなツール(動画)を作成し、継続して実施するイベント(体験ツアー等)を活用することにより、林業・木材産業に対する認知度向上に努める。
9	元気のある木炭産地づくり促進事業	北いわて木炭産業振興協議会	736,534	438,016	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・所期の目的を達成することができた。 ・今後は、木炭の良さ・使用方法等を紹介する動画等を作成・公開し、需要拡大に努める。

10	久慈地方産原木乾しいたけ販路拡大事業	久慈地方森林組合	354,714	246,837	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の事業により、一定の成果は得られたものの、依然として、市場における良品の価格は頭打ちとなっている。そのため、今後も直接販売への取組を継続し、良品の売り上げ増加及び販路拡大を図る必要がある。 ・今後は継続して販売促進活動を実施するほか、県内の普及啓発を図るため、情報誌の掲載等を行う予定としている。
11	浄法寺漆資源確保対策支援事業	林務部	646,211	646,211	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の事業により、漆資源調査結果を二戸市が行った調査結果と合わせ、管内の漆資源の現状を把握したため、将来の資源計画の基礎資料とする予定である。また、保育管理研修会により、林業事業体へ管理作業が委託できる体制整備の準備が行われた。 ・イベント出展や漆器貸し出し等により、管内のほか、首都圏等に浄法寺漆器のPRが行われ、販路拡大に向けた取組に寄与することができた。
12	木材のカスケード利用促進事業	林務部	235,116	235,116	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・林地残材の利活用について、先進地事例及び県内の具体的事例を管内の林業事業体や木材関係者が学ぶことにより、地域の木材利用の課題について共通認識を持つことができた。 ・今後は、課題解決に向けて検討を進める。
13	久慈地域水産物商品力強化事業	久慈地域「海の幸」PR協議会	596,906	500,312	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・久慈地域の水産物の盛岡市等での直接販売や、アンケート調査の実施により、消費者の動向を把握することができ、販売活動の促進につながった。 ・内陸部の小学校での魚食活動の実施により、久慈地域水産物の認知及び利用促進につながった。
14	県北広域カワウ被害防止体制構築事業	水産部	455,510	455,510	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度以降カワウの飛来防止対策を重点的に行う水域を特定することができた。 ・カワウの飛来防止に有効とされている手法について、効果や使用条件について検証し、平成30年度以降各漁協がカワウ飛来防止対策を検討するために必要な知見を得られた。
15	浜の魅力・活力向上支援事業	久慈地域「海の幸」PR協議会	685,924	475,924	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体に産直による商品販売や浜料理の販売を行ったことで、地元水産物に対する消費者ニーズや浜の賑わいを感じるようになった。 ・生産者が来客者に対面販売することができ、お客様からの評価(美味しい、新鮮等)、価格(高い、安い)などの消費者ニーズを直接確認できたため、今後の商品開発や販売方法等の参考となった。

16	定置網漁業へのカイゼン手法導入事業	水産部	357,148	357,148	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・定置網漁船の作業状況の調査を行い、各定置網漁船の作業実態に合ったカイゼン指導を実施したことで、定置網漁業の漁獲作業等の労働安全強化につながった。 ・カイゼン講習会の実施により、定置網漁船におけるカイゼン事例の普及及び各定置網漁業者の意識啓発が図られた。
17	北の海人(あま)養成塾	水産部	32,647	32,647	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・座学と漁業体験を通じて、高校生に地元の漁業の実態を知ってもらうことができた。 ・今後は、漁業体験の対象者を高校生だけでなく一般の方にも広げ、より多くの人に対して漁業就業の場を提供することとしたい。
18	ホタテ養殖省力化実証事業	水産部	755,015	755,015	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の実施により、漁業者の省力化に対する意識が高まった。 ・今回の試験結果の報告会などを通して、作業の省力化、共同作業化について漁協、漁業者等と意見交換を行い、具体的な省力化の方法の検討を進めることとしている。
19	北三陸地域資源活用推進事業	経営企画部	525,348	525,348	1 県・委託	3 観光産業	1 ソフト	<p>みちのく潮風トレイルや三陸ジオパーク、三陸鉄道等を活用したPRを実施し、県北圏域特有の地域資源のPRが図られた。平成30年度についても、引き続き関係団体等との連携を図りながら、当圏域特有の地域資源の磨き上げと情報発信に取り組んでいくこととする。</p>
20	北いわて広域連携誘客促進事業	経営企画部	1,188,951	1,188,951	1 県・委託	3 観光産業	1 ソフト	<p>県北圏域が有する自然や歴史文化、体験型コンテンツ等の観光資源に関する情報発信に当たっては、周辺地域との連携を図るとともに、各種イベント等の機会を効果的に捉えて、誘客拡大につながる情報発信を継続して取り組むこととする。</p>

21	北いわて観光客受入態勢整備事業	経営企画部	1,131,979	1,131,979	1 県・委託	3 観光産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、観光素材及び観光メニューの精査を行うとともに、それらを活用した情報発信に取り組んだが、目標値を達成することができなかった。平成30年度は、新たな観光資源の掘り起しや既存の観光資源の磨き上げを強化するとともに、積極的な情報発信に取り組み、観光客及び教育旅行客の誘客拡大を推進することとする。 ・ロケツーリズムセミナーやインバウンドセミナー等の研修会を開催し、地域の観光人材の育成を推進した。今後は、北三陸「あまちゃん」観光推進協議会等の関係団体と連携し、スキルアップにつながる効果的な研修会等の機会増加を検討しながら、継続して人材育成に取り組んでいく。
22	カシオペア体験交流推進事業	二戸地区広域商工観光推進協議会 折爪岳振興協議会	4,903,590	2,542,019	2 県・補助	3 観光産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし講座においては、今年度の参加者からの評価などを踏まえ、引き続き、ボランティアガイド等の若手、担い手を育成し、体験交流プログラムの各実施主体のさらなるネットワーク化を進めることとする。 ・体験交流プログラムの新規企画・内容拡充については、今年度は1件の支援を行い、次年度以降のプログラム実施の継続性に貢献できたことから、引き続き、新規企画・内容拡充の支援を行い、プログラムの充実を図っていく。
23	久慈地域食産業振興事業	経営企画部	1,862,032	1,862,032	4 県・上記以外	2 食産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外における商談会等への出展支援やバイヤーの招待を通じて、地域事業者の売上及び認知度の向上に資することができた。 ・今後は、県北管内の食産業の振興という大きなビジョンに向けて、それぞれの細事業を関連付けて展開する必要がある。
24	二戸地域食産業の知名度向上・販路拡大等支援事業	経営企画部	1,192,015	904,271	2 県・補助	2 食産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・地域外イベントについては、県央や県南で二戸地域の食材をPRすることができた。継続することで認知度が高まると考えられるため、今後も継続して出店を支援する。 ・リーフレット作成事業については、配架後早速商品についての問い合わせがあり、地域内でもあまり知られていない商品をPRできた。 ・魅力ある事業者支援について、今年度はやむを得ず3事業者のみの支援となったが、来年度も商工会の協力を得て、管内事業者を支援していく。
25	北いわてものづくり産業人材育成事業	経営企画部	1,256,257	1,256,257	3 県・負担金	1 ものづくり産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度が6回目となる県北ものづくり改善塾は、会場企業の生産性が向上したほか、参加者の改善意欲の向上が見られるなど、県北地域のものづくり企業における社内人材育成に貢献する取組となっている。 ・管内高校への教材費及びバス代等の支援は、将来のものづくり人材の育成やものづくり産業への興味向上につながる取組となっている。

26	北いわてアパレル産業支援事業	経営企画部	1,380,386	1,380,386	4 県・上記以外	1 ものづくり産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャパンクリエイションへの出展や県内高校生等からのデザイン募集による洋服制作・発表等が、北いわてアパレル産業をアピールする場となっていることから、こうした取組を継続していく。 ・一方で、商談成約件数が伸び悩んだことから、各事業を連携させるなど見直しが必要と思われる。
28	働き盛りの運動習慣定着推進事業	保健福祉環境部	201,597	201,597	4 県・上記以外	7 地域医療・健康づくり	1 ソフト	<p>当初の計画どおり実施ができた。健康づくりの意識や実践に向けた機運の醸成には一定の効果が見られたことから、今後は、実践の継続や定着に向けた取組の支援を進めていきたい。</p>
29	「障がい者の自立支援」推進事業	保健福祉環境部	308,245	308,245	4 県・上記以外	8 子育て・福祉	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・当初予定していた障がい者就労継続支援事業所へのアドバイザー派遣については、工賃向上に関する課題整理ができていないことや、支援員不足による新規の取組に対する拒否感からアドバイザー派遣の需要がなく実施できなかった。まずは、工賃向上に関する取組の紹介等を通じて事業所の意欲向上を図ることが必要である。 ・障がい者アートの振興においては、派遣を受けた障害者支援施設等からは継続実施の要望があった一方で支援者が作品の評価をできないという意見もあり、今後は、作品展の情報提供や実施などが必要である。 ・障がい者コミュニケーション支援者養成については、手話によるコミュニケーション支援者の充足を図るため、研修を継続していく。 ・発達障がい支援者実務研修では、当初の予想を超える参加者数となり、発達障がいに対する関心の高さが伺えた。今回の研修で支援方法等の知識は増えたと思われるが、実際の支援に際しては個人差等により困難が予想されることから、ケース検討やアドバイスの機会等も必要と思われる。また、今後は最も身近な支援者である保護者に対する研修も必要と思われる。
30	環境を守り育てる人材育成事業	保健福祉環境部	165,505	165,505	4 県・上記以外	10 環境	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・環境講演会については、事前に高校を訪問し内容や開催日程を調整したことにより、多くの高校生が参加し、若年層への意識啓発のほか、地域の環境関連の活動に対する理解の促進も図られたと考える。次年度は若年層(中学生)を対象に、環境分野の仕事に関連するセミナーを開催し、環境関連の仕事に興味を持つきっかけづくりをしたい。 ・教職員を対象とした研修会では、会場校の協力もあり、多くの先生方へ水生生物調査の指導技法や知識の普及を図ることができた。一方で、水生生物調査参加団体数は伸び悩んでおり、総合的学習の時間の縮小等、授業内での実施が難しくなっている状況もあることから、学校がクラブ活動や夏休みでの実施を検討できるよう、より一層支援していく必要がある。

31	カシオペア連邦環境を守る若手人材育成事業	保健福祉環境部	306,520	306,520	1 県・委託	10 環境	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・環境フェスティバルは、3年連続の開催ということもあり、地域住民が地元の環境に関心を持つことの意識啓発に一定の効果が図られている。今後、より多くの住民に来ていただけるように広報の仕方や開催内容を工夫していく。 ・エコキャラコンテストの応募作品については、他のイベントでの展示や作品の環境啓発事業での活用などについて、事業を委託しているカシオペア環境研究会とともに検討していく。
32	北三陸若者女性活躍支援事業	経営企画部	591,507	591,507	4 県・上記以外	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・地域情報発信事業は、試験的に久慈地区の1団体を派遣したが、来年度は対象を二戸地域まで拡大して実施することとしたい。 ・地域づくり人材育成事業は、来年度も参加したいという方が多数いたため、継続することとする。なお、派遣後の活用支援、派遣者の活用方法については、振興局主催の地域づくりイベントでの活用や派遣者の活動支援等を検討したい。
33	カシオペア若者定住事業	経営企画部	2,405,695	2,405,695	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・「カシオペアサマーパーティー」については、参加者から好評を得るとともに、主催者側として取り組んだ地域の若者の満足度も高かったことから、引き続き、若者活動の場、若者交流の場を設けるため、事業を継続したい。 ・二戸若手料理人の会の出店支援や自主的出店におけるご当地グルメの認知度向上を図る活動においては、商品のみならず、二戸地域をPRすることが必要なことから、学生たちが地元により愛着を感じながら活動していると思われ、このことは、若者定住に繋がるとともに、人材育成にも資することから継続して活動する。 ・若者情報発信事業については、3年にわたり、コミュニティFMを通じ様々な若者が出演し、二戸地域における様々な分野について、若者の視点からの発信がなされたことから、若者情報発信の機会創出の目的は概ね達成できた。
34	「三陸ぐるっと食堂」開催事業	経営企画部	2,482,377	2,482,377	3 県・負担金	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<p>洪水警報の発令により2日目を開催中止としたが、各種関係団体と連携して開催・対応することができた。来年度は7月に大船渡市にて開催予定のため、沿岸広域振興局と連携して開催するとともに、県北広域振興局管内からの地域団体の出展調整を行うこととしたい。</p>
35	久慈・二戸地域「古道と道路史跡とのふれあい」事業	土木部	311,720	311,720	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<p>今年度は一般参加者が26名あり、古道及び道路史跡への関心の深さを感じた。来年度は広報活動等の見直しを図ったうえで、事業を継続することにより、道路愛護精神の啓発を図る目的の定着を図りたい。</p>

36	地域のチカラ発信事業	経営企画部	3,140,198	3,140,198	1 県・委託	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・全戸配布広報誌については、振興局の実施する事業を中心に、東北地域の特色を管内の住民に周知することができ、地元への誇りや興味を持ってもらうことができた。今後も東北地域の魅力を継続して発信していく。 ・広報スキルアップセミナーについては、広報に活用する写真への理解を深め、情報発信力の向上に寄与することができた。 ・復興の現場見学会については、三陸鉄道を利用した「震災学習列車」を中心に好評であり、来年度も継続することとする。アンケートには、「孫や子にも参加させたい」などの意見もあり、未来を担う子供達や現役世代の参加を促すため、来年度は、対象を親子に変更して実施することとする。
37	動物愛護管理普及啓発推進事業	保健福祉環境部	151,228	151,228	4 県・上記以外	10 環境	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の同行避難訓練については、今後、市町村等が実施する避難訓練等の取組を支援し、地域の対策をより推進していく必要がある。 ・動物愛護の普及啓発については、参加者等からの意見を踏まえつつ、今後も効果的な普及啓発行事を継続していく必要がある。 ・動物の一時預かりボランティアについては、ボランティアと連携し、保健所の動物管理施設では飼養管理が難しい幼齢の動物の譲渡の取組を継続していく。
38	東北地域農林水産物販売PR応援事業	農林水産業者等の団体	1,435,392	600,000	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施主体による販売促進ツールの作成、試食イベントや商談会の開催を行ったが、販売額向上にどうつながったのか把握するまでには至らなかった。 ・事業実施主体からは、商談会で多くの業者とのつながりができた、化粧箱の作成で3町村共通の販売店での贈答品販売が可能となったなどの報告を受けており、今後、その状況を確認していきたい。
39	ヒトものバス新物流モデル構築事業	農政部	218,499	218,499	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・当初事業目標としていた、新たな物流システムモデルの構築までには至らなかったが、東京ドームホテルのシェフからは、どのようにすれば、産地直送による納品が可能か検討する旨のコメントがあったことから、出荷元となる産直の育成と併せて、新たな物流システムの構築を進めていく。 ・また、平成30年度の夏期及び秋期(高温期)に実施予定の高速夜行バスによる輸送実証の際には、東京ドームホテル以外の飲食店に対して久慈地域で生産した農林水産物の納品を行い、新たな物流システムモデルを構築する。
40	県外船誘致活動強化支援事業	久慈市水産振興協議会	1,557,267	500,000	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<p>当該事業により、県外船の誘致活動の強化が図られ、また、水揚量の多い魚市場での取組状況を知ることができたことから、今後の活動の充実により県外船の入港が増えることが期待される。</p>

41	北いわて広域観光PR事業	経営企画部	251,640	251,640	1 県・委託	3 観光産業	1 ソフト	<p>・本事業は、県北広域振興局管内8市町村が連携した新たな取組であり、今回作成したポスターについては、北いわての魅力発信ツールとして期待される。</p> <p>・ただし、作成枚数が少なかったことから、誘客施設への配布数が限られ、インパクトのあるPRにはつながらなかった。今後のニーズ等も踏まえ、増刷の検討をしたい。</p>
42	北三陸・子どもアートタッチプロジェクト	経営企画部	490,968	490,968	4 県・上記以外	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	<p>児童の保護者、学校の担任、そして協力いただいた各団体から好評であったことから、来年度も継続して実施する。</p>
43	漁協経営安定対策調査事業	水産部	761,205	761,205	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<p>漁協経営の改善に成功した先進事例を調査する等により、洋野町地区の漁業形態や漁協の実情を踏まえた改善策を検討するために必要な基礎資料を得ることができた。今後、洋野町管内漁協の組織強化による経営安定化の促進につながると期待している。</p>
44	名古屋市の「丸ごと支援」から学ぶ・復興担当職員研修事業	経営企画部	422,475	422,475	4 県・上記以外	9 防災・危機管理	1 ソフト	<p>本研修等を踏まえて、名古屋市との交流を検討する動きも具体化しつつあり、今後の展開方策を検討したい。</p>
45								
46								
合 計			42,374,275	33,992,179				